健口体操

お口が健康だと、食事や会話を楽しみ、表情も豊かにな り、何事にも意欲がわいてきますね。毎日のお口のケア に加えて、健口体操でいつまでも若々しい表情と一生噛 めるお口を作りましょう!

1深呼吸



②首の運動



動かす(2回)



左右にゆっくり 横に2回動かす



左右にゆっくり 1回ずつまわす

③肩の運動



しっかり上げて、力を 抜いて下げる(4回)

4類の運動



頬をふくらます → 頬をへこます (2.3回)

5口唇運動





口をすぼめる→「イー」と横に開く (2.3回)

6舌の運動



舌をしっかり出す→上下左右に伸ばす→ 舌を出し、お口の周りをグルグル動かす

(7)唾液腺マッサージ



指4本を耳の前の頬 に当て、円を描くよう にマッサージ(10回)

あごのラインの内側 のやわらかい部分 (3、4か所)を順に 押していく(各5回)



のやわらかい部分 を上方向にゆっくり 押し当てる

8ベロ出しごっくん体操



舌を出したまま、口を閉じてつばを 飲み込む(舌を強く噛まないように 注意しましょう)

9パタカラ体操



1. 「パ」・・唇をはじくように

- 2. 「タ」・・舌先を上の前歯の裏 につけるように
- 3.「カ」・・舌の奥を上あごの奥に つけるように
- 4. 「ラ」・・舌を丸めるように (*各発音8回を2セット行う)

口から食べることは元気の源

いろいろ食べて健康(口)に!

- 多様な食品を食べることが健康長寿の秘訣です。
- ・下の10食品群(水分以外)の中で食べたものを1食品群=1点 と数えます。
- 下の10食品群(水分以外)のうち1日7点以上を目指しましょう!















大豆製品



くだもの



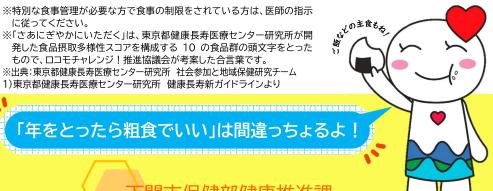




あごの中心あたり

※「さあにぎやかにいただく」は、東京都健康長寿医療センター研究所が開

発した食品摂取多様性スコアを構成する 10 の食品群の頭文字をとった もので、ロコモチャレンジ!推進協議会が考案した合言葉です。 ※出典:東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム



「年をとったら粗食でいい」は間違っちょるよ!

高齢期の食生活は「低栄養」に要注意です。必要な栄養をまんべんなくとるためには、 「粗食」ではなく、多様な食品や料理を食べることが重要です。

3食しつかり食べましょう

食のなかで主食・主菜・副菜を組み合わせて食べましょう

主食

主菜

副菜

炭水化物を多く 含み、エネルギ 一のもとになる (ご飯、パン、麺類)

たんぱく質や脂質を 多く含み、からだを つくるもとになる (肉、魚、卵、大豆製品)

ビタミン・ミネラル、 食物繊維を多く含み、 からだを丈夫にする (野菜、海藻、きのこ、芋)











いろいろな食品を食べましょう

覚えよう!毎日食べたい10食品群 「さあにぎやか」いただく」







魚のほか、いか、えび、 かに、貝類、練り物など





牛乳のほか、チーズ、 ヨーグルトなどの 乳製品も





植物油、バター、 ドレッシングなど。





牛、豚、鶏肉のほか、 ウインナーやベーコン などの加工品も



トマト、かぼちゃ、 人参などの緑黄色野菜 をたっぷりと



わかめ、ひじき、もずく、 のり、昆布など

たんぱく質を多く含む食品(主菜)を とるように意識しましょう









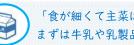
高齢になるにつれ、不足しがちなたんぱく質は、体の機能や筋肉、体力を維持するために 大切な栄養素です。たんぱく質を多く含む食品(主菜)を毎日食べる習慣をつけましょう。





麺類に鯖缶や蒲鉾をのせて

汁物に豆腐、サラダにハムをプラス



「食が細くて主菜は少量しか食べられない」という方は、 まずは牛乳や乳製品を上手に活用してたんぱく質補給を



※特別な食事管理が必要な方でたんぱく質の制限をされている方は、医師の指示に従ってください。

買い物や料理が大変なときは・・・

市販の総菜や缶詰、レトルト食品、冷凍食 品なども活用してみましょう。





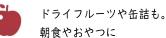
- ▶下の | ○食品群(水分以外)のうち、 | 日に食べた食品群をチェックしてみましょう。
- ▶7点を目指すのが難しい場合は、 I 点でも増やすことを目標に。(特に主菜)





じゃが芋、さつま芋、 里芋、長芋など。おやつ の代わりなどに







鶏卵のほか、うずら卵、 卵豆腐、茶碗蒸しなど の卵製品も

大豆、豆腐、納豆、油揚げ、





"水分補給" も忘れずに

※きのこ類やナッツ類など10食品群に入らない食品にも大切な栄養素が豊富に含ま れています。積極的に色々な食品を食べて食事を楽しみましょう。

※特別な食事管理が必要な方で食事の制限をされている方は、医師の指示に従って

※「さあにぎやかにいただく」は、東京都健康長寿医療センター研究所が開発した食 品摂取多様性スコアを構成する 10 の食品群の頭文字をとったもので、ロコモチ ャレンジ!推進協議会が考案した合言葉です。

※出典:東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 1)東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿新ガイドラインより





厚揚げなど

大豆製品 (調味料は含まない)